

公立大学法人大阪府立大学 平成29事業年度の業務実績に関する評価結果の概要

大阪府公立大学法人大阪府立大学評価委員会
(事務局 大阪府財務部行政経営課)

公立大学法人大阪府立大学の各事業年度の業務実績については、地方独立行政法人法に基づき、大阪府公立大学法人大阪府立大学評価委員会による評価を受けることとなっており、平成30年8月20日に開催された平成30年度第3回評価委員会において、平成29事業年度の業務実績の評価結果が決定されました。

全体評価 「全体として年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」

- 大項目について、6項目すべてがA評価（計画どおり進捗）であり、教育研究等の質の向上についても概ね計画どおり進捗していることを確認した。
- 委員会コメント
 - ・高等専門学校機関別認証評価機関において「高等専門学校評価基準を満たしている」との評価を受け、選択評価事項 A（研究活動）及び B（正規課程の学生以外に対する教育サービス）については「目的の達成状況が良好」との評価を受けるなど法人の取組みについての成果が認められる。今後も同様の評価を得るための継続的な努力を望む。
 - ・地域貢献に関して I-site なんばにおける公開講座の実施や業務運営体制の改善及び組織の活性化に関しては「IR推進室」などの新設、女性研究者支援の積極的な取組み等が行われていることを評価する。引き続き同様の成果を得られるよう積極的な取組みを望む。

大項目	評価	主な判断理由・特記事項
教育研究等の質の向上	「計画どおり」進捗していることを確認	「教育研究等の質の向上」の地域貢献等及びグローバル化以外に関する14の小項目について、進捗状況をチェックしたところ、教育、研究いずれの分野においても、全体的に概ね計画どおり進捗していると認められる。 高等専門学校機関別認証評価機関において「高等専門学校評価基準を満たしている」との評価を受け、選択評価事項 A（研究活動）及び B（正規課程の学生以外に対する教育サービス）については「目的の達成状況が良好」との評価を得たことを確認した。
	「地域貢献」及び「グローバル化」の項目は A 評価に該当	研究外部資金獲得額等、一部の達成指標において計画を下回ったものもあったが、I-site なんばを活用した社会人講座を充実させ、利用件数実績が前年を大きく上回るなど他の項目も総合的に判断し、年度計画を順調に実施と判断。
業務運営の改善及び効率化	S A B C D	「組織の活性化」の小項目では、研究支援員配置などの環境整備による女性研究者比率の増加など年度計画を上回って実施していると判断。理事・副学長会議の回数を増やし、理事長と理事・副学長間の情報共有を進めるなど、計画どおりの進捗が認められた
財務内容の改善	S A B C D	外部資金獲得額や経営課題に対応するための予算配分、省エネの取組み及び運営交付金の効率的な執行に努め事業評価を行うなど、計画どおりの進捗が認められた。
自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供	S A B C D	認証評価結果に基づき改善を進めたことやシラバスの内容チェックを実施し Web ページで公開などの取組みを実施。また、認知度向上とブランド力の強化のため広報を実施するなど、計画どおりの進捗が認められた。
その他の業務運営	S A B C D	施設整備・保全プランに基づき、耐震化、改修工事を実施。また、公平・公正な入試運営の実施のための改善を行うなど、計画どおりの進捗が認められた。
大阪市立大学との統合等	S A B C D	大阪市立大学と共同で「新法人設立準備室」を設置し、統合に向けた取組みを実施するなど、計画どおりの進捗が認められた。

※評価区分 S：特筆すべき進捗状況 A：計画どおり B：おおむね計画どおり C：やや遅れている D：重大な改善事項あり
 ※「教育研究等の質の向上」（「地域貢献等に関する項目」及び「グローバル化に関する項目」を除く）については、教育研究の特性への配慮から、専門的な観点からの評価は行わず、進捗状況の確認にとどめた。